

事務事業評価シート

(評価対象年度：平成30年度)

1. 基本的事項【PLAN】

①事務事業名	泉南市エイフボランタリーネットワーク補助事業				②事業番号	4203			
③事業類型	7. 負担金・補助金事業			④開始年度	昭和	51	⑤終了予定年度	年度	○ 設定なし
⑥根拠法令等	法令	条例	規則	○ 要綱	計画等	その他	法令等の名称: 泉南市エイフボランタリーネットワーク事業活動補助金交付要綱		
⑦実施手法	直営	全部委託	一部委託	○ 補助・負担	その他				
⑧関連予算科目コード	款	4	項	1	目	1	細目	4	
⑨担当部名	健康福祉部			⑩担当課名	保健推進課			会計	一般会計

2. 事務事業の現状把握【DO】

【1】事務事業の目的・事業内容

(1)対象(誰、何に対して事業を行うのか)	対象指標(対象者数を表す指標)	単位
① 泉南市エイフボランタリーネットワーク	① 会員数	人
②	②	
(2)事業内容(具体的な事務事業の内容、どのような方法で実施しているか)	活動指標(活動の量を表す指標)	単位
会議への参加や、財政的に補助し、エイフ活動が円滑にいこう支援する。 <泉南市エイフボランタリーネットワークの活動内容> ・環境美化運動への参加 ・アドトリアバー運動(桜の木への追肥や川の清掃) ・海辺の清掃活動 ・健康づくり推進会議への出席 ・結核予防推進大会への出席 ・健康づくりのための料理教室の企画等	① 会議	回
	② 機関紙発行	回
	③	
(3)意図(対象をどのような状態にしたいか、何をねらっているのか)	成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
団体としての活動が、どれだけ活発に活動しているかをはかる。	① 地域での団体活動回数	回
	計算式	
	②	
	計算式	
	③	
	計算式	
(4)結果(対象を意図する状態にすることで、何に結びつくか。上位施策との関連)	総合計画体系上の位置付け	
活動を通じて、仲間意識を高め、地域ぐるみで市民のがん検診はじめ各種検診・健診の受診勧奨を行う。 (6-1-2-1):コミュニティ活動の促進	政策(章)	2: みんなが健やかで、みんなが助け合うまち
	施策大(節)	2: すべての市民が生涯にわたって健康な生活を送れるまちをめざします
	施策中	2: 健康づくりの推進
	施策小	1: 各種健診・検診、保健指導の推進

【2】各種指標値、事業費の推移

指標名		単位	H28実績	H29実績	H30実績	R1見込	R2目標	指標値の推移における 特殊要因などの説明
対象指標①	会員数	人	157	161	155	156	157	
対象指標②								
活動指標①	会議	回	48	48	48	48	48	
活動指標②	機関紙発行	回	2	2	2	2	2	指標値の推移における 特殊要因などの説明
活動指標③								
成果指標①	地域での団体活動回数	回	30	33	33	34	35	
成果指標②								事業費などの推移における 特殊要因などの説明
成果指標③								
事業費	投入人員	人	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	
	正職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	任期付職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	人	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
事業費	人件費(投入人員*単価)	千円	402	402	405	405	405	
	直接事業費	千円	112	112	112	109	109	
	総事業費	千円	514	514	517	514	514	
財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	
	府支出金	千円	0	0	0	0	0	
	受益者負担金	千円	0	0	0	0	0	
	その他特定財源	千円	0	0	0	0	0	
	一般財源	千円	514	514	517	514	514	

【3】事務事業開始の経緯、状況の変化、評価結果への対応

①この事業を開始したきっかけは何か。	地域に根ざした健康づくり運動が必要になってきた。
②開始から現在までこの事務事業を取り巻く状況は、どのように変化したか。また、今後どのように変化していくと考えられるか。	地域のつながりが希薄化しており、地域での絆が重要視され、今後ますます女性の組織力を結集させた、市民の健康づくり・地域の環境づくりへの貢献が必要になってくる。
③前年度の評価結果を受けて行った改革・改善の取組はあるか。	—

3. 事務事業の評価【CHECK】

[1]目的妥当性(必要性)

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[1]の評価

A

評価項目	評価及び理由・説明等	
①事務事業の意図すること(目的)は、上位施策(施策小)の達成に貢献しますか。	ア. する イ. ある程度 ウ. しない	各種がん検診等の受診勧奨を行うことにより、各種健診・検診の推進につなげる。
②税金を使って達成する目的ですか。(市が関与する必要がありますか、市民(特に納税者)の納得が得られますか。民間に類似サービスはありませんか。)	ア. はい イ. ある程度 ウ. いいえ	がん検診の受診勧奨などのエイフ活動は、公益性が高く、市として支援する必要がある。
③対象範囲、単価、事業費規模は市民のニーズや社会環境に合っていますか。(他団体と比較してどうですか。)	ア. 合っている イ. ある程度 ウ. いない	補助金は、エイフによる地域の女性によって行われる健康づくり活動に使われている。これらは市民のニーズをより身近にとりいれた活動である。
④事務事業を休止・廃止した場合、市民生活(あるいは上位施策)への影響はありますか、ある場合それは大きいですか。	ア. 影響がある イ. ある程度 ウ. ない	家庭・地域社会を中心とした健康づくりが後退し、行政主導になるおそれがある。

[2]有効性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[2]の評価

A

⑤期待どおりの成果が得られていますか。	ア. 得られている イ. ある程度 ウ. いない	女性の組織力を生かし、地域の中で子宮・乳がん検診等の受診勧奨が行われた。
⑥今後事務事業を工夫することで成果向上の余地はありませんか。(事務事業の成果指標をさらに伸ばすことができませんか。)	ア. ある イ. ない	会員への研修を実施することにより、健康づくりのスキルアップを図る。
⑦庁内の他部署で、類似の目的を持つ事務事業はありませんか、それらと統廃合や連携を行うことで、より成果を向上できますか。	ア. 類似なし イ. できる ウ. できない	—

[3]効率性

A.高い B.やや高い C.やや低い D.低い

[3]の評価

A

⑧成果を下げずに事業を工夫してコスト(直接事業費+人件費)を削減する手法はありませんか。(業務改善、業務の委託化、委託業務内容の見直し、IT化などはできませんか。)	ア. ある イ. ない	人件費以外の事業費は定額であり、これ以上の削減は困難である。
⑨受益者負担の適正化余地はありませんか。(歳入確保はできませんか。)	ア. ある イ. ない	補助事業であり、受益者負担の考えは適さない。

4. 総合評価

総合評価	評価(A~D)	個別評価の結果を踏まえて課題等を整理	A:現状のまま事業を進めることが適当
	A	今後も泉南市エイフボランティアネットワーク事業への支援が必要であり、新規会員を募り、安定的な会員数が望まれる。	B:事業の進め方に改善が必要 C:事業規模、内容、実施主体の見直しが必要 D:事業の統合、休止・廃止の検討が必要

5. 改革、改善案【ACTION】

<今後の方向性>

ア	<p>ア. 現状のまま継続</p> <p>イ. 見直しのうえで継続</p> <p>ウ. 終了 (___ 年まで)</p> <p>エ. 休止 (___ 年から)</p> <p>オ. 廃止 (___ 年から)</p>
イ	<p><今後の展開方針></p> <p>a. 重点化する(集中的なコスト投入)</p> <p>b. 手段を改善する(実施主体や実施手段を変える)</p> <p>c. 効率化する(コストを下げる)</p> <p>d. 簡素化する(規模を縮小する)</p> <p>e. 統合する(他の事務事業と統合する)</p>
①改革、改善の具体案、実施年度など	—
②改革・改善を実現するうえで、解決すべき課題及び考えられるその解決策	—